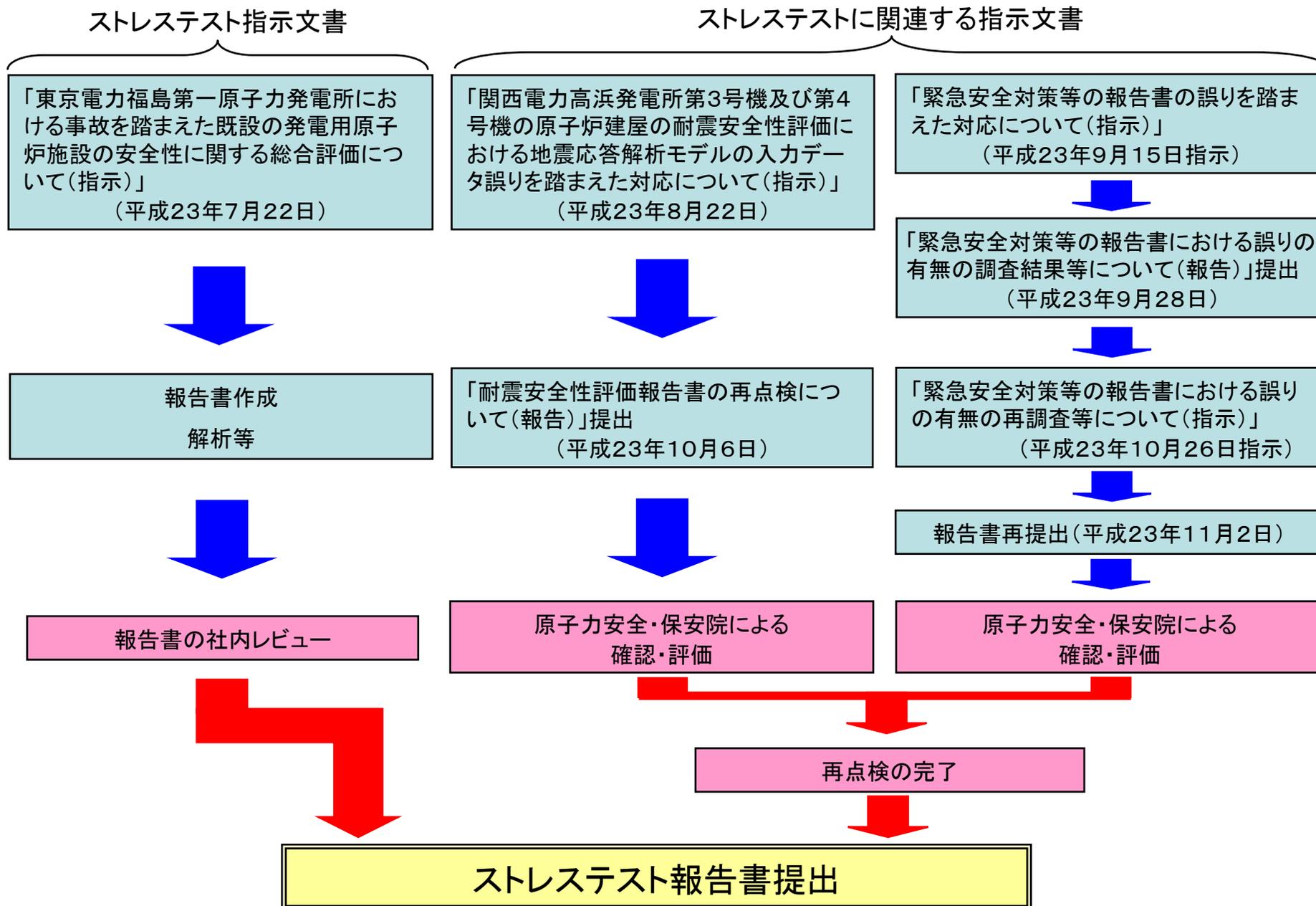


## 伊方3号機のストレステスト評価の進捗状況

---

平成23年11月4日  
四国電力株式会社

# ストレステスト報告書提出までの流れ



# ストレステストに関連する指示文書と対応について

指示文書	指示内容	対応状況
「関西電力高浜発電所第3号機及び第4号機の原子炉建屋の耐震安全性評価における地震応答解析モデルの入力データ誤りを踏まえた対応について(指示)」 (平成23年8月22日)	耐震安全性評価に係る解析のために入力したデータ等について、誤りの有無を調査し、保安院の確認を受けること。	解析に使用したデータ等が正しいことを確認し、保安院へ報告した。(平成23年10月6日)
「緊急安全対策等の報告書の誤りを踏まえた対応について(指示)」 (平成23年9月15日指示)	緊急安全対策の実施状況等の報告書について、誤りの有無を調査し、誤りがあった場合は、原因の究明及び再発防止策の策定を行い、報告すること。	調査対象の報告内容について誤りの有無を確認した結果、すでに判明していた「伊方発電所の外部電源の信頼性に係る開閉所等の地震対策について(報告)」以外に誤りは確認されなかった。また、誤りの発生した原因と再発防止対策について保安院へ報告した。(平成23年9月28日)
「緊急安全対策等の報告書における誤りの有無の再調査等について(指示)」 (平成23年10月26日指示)	9月15日付指示文書に基づく調査報告書について確認した結果、数値について出典元との照合を行っていない等、十分な調査が行われたとは認められないため、改めて徹底した調査等を実施し、その結果について報告すること。	保安院からの指摘事項について、再調査を実施し、保安院に報告した。(平成23年11月2日)

# ストレステストの概要

原子力発電所に、例えば設計時の想定を超える地震や津波（ストレス）が発生した場合に、

○「設備の安全性にどの位の余裕があるか」

○「ストレスの度合いが大きくなっていった時、どのような大きさを境に事象の進展が大きくなるか」ということについて評価を行うもの。

ストレステスト1次評価項目	内 容	評価尺度
地震	想定を超えて、どの程度の揺れまで燃料損傷に至らないか(どの程度の余裕があるか)を評価	地震動 (機器裕度)
津波	想定を超えて、どの程度の高さまで燃料損傷に至らないかを評価	津波高さ
地震と津波との重畳	想定を超える地震と津波が同時発生した場合にどの程度まで燃料損傷に至らないかを評価	地震動 津波高さ
全交流電源喪失	発電所が完全に停電(全交流電源喪失)した場合に、外部からの支援なしでどの程度の時間燃料損傷に至らないか評価	時間 (日数)
最終的な熱の逃し場の喪失	燃料の崩壊熱を除熱するための海水を取水できない場合(最終的な熱の逃し場の喪失)に外部からの支援なしでどの程度の時間燃料損傷に至らないか評価	時間 (日数)
その他のシビアアクシデント・マネジメント	これまで整備してきたシビアアクシデント・マネジメント策について多重防護の観点からその効果を明示	—



○3号機については、報告書の提出前の社内レビュー等を実施中

○なお、1号機についても、報告書の作成にとりかかっている。